

8/28 土曜日 14:00～16:00
オンラインセミナー

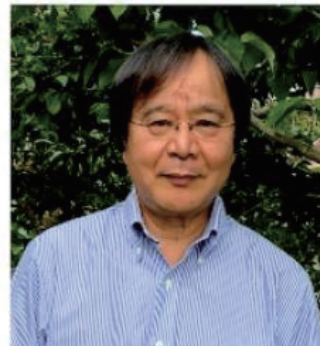


「途上国の水とトイレの課題を考える：NGOウォーターエイドの活動」
ウォーターエイドジャパン
事務局長 高橋郁

SDGs 6 達成へ向けた 「水」の国際貢献と 小さな水道



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「カンボジア・シェムリアップ州の村落における生活衛生改善のための家庭用浄水器」
名古屋環未来研究所
理事 伊佐治知明

主催：特定非営利法人 地域水道支援センター

私たち特定非営利活動法人地域水道支援センター（CWSC）は、2006年、地域の小さな水道を支援すること、自然に備わった原理を活かす緩速ろ過（生物浄化法）を研究し、広めることなどを通して社会に貢献することを目的に設立、活動してきました。

このたび、**水分野での海外への貢献をテーマにオンラインセミナー**を開催する運びとなり、ご案内申し上げます。

第1部のレクチャーでは、まず、水・衛生分野に特化して活動している **NPO ウォーターエイドジャパン事務局長の高橋郁さん**に、開発途上国支援の現状や課題についてお話しいただきます。

次に、カンボジアで、地域を巻き込んだ小規模水道の普及を実践された**名古屋環未来研究所の伊佐治知明さん**に、適切な技術とは何かを含め水分野での貢献についてお話しいただきます。

第2部では、ご参加いただいたみなさまとディカッションを行います。

多くのみなさまと、海外への水分野への貢献を考える機会となれば幸いです。ふるってご参加ください。

…………… 講師プロフィール ……………

高橋 郁

〔特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン事務局長〕
ロンドン大学東洋アフリカ研究所にて開発学修士号取得。緊急支援のNGO、教育関連企業勤務を経て、2012年7月にウォーターエイドに入職。事務局長として、特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパンの設立に携わる。ファンドレイズ、広報、アドボカシー等、幅広い業務に従事。

伊佐治知明

〔一般社団法人名古屋環未来研究所理事〕
名古屋市上下水道局在籍中から、メキシコ市水道水質管理プロジェクト、スリランカ緩速ろ過浄水場フォローアップ支援、課題別研修水道無収水量管理対策などのJICA事業を実施してきた。今回紹介するカンボジアの案件は、草の根協力支援型で実施したもので、現在同地域でパートナー型を準備中である。

< セミナー概要 >

主 催 : 特定非営利活動法人 地域水道支援センター
日 時 : 2021年8月28日(土) 14:00～16:00
場 所 : オンライン (Zoomで行います)
参加申込された方にはイベントの前日の8月27日(金)にZoom会議室のURLを送信します。
参加費 : 3,000円 (当NPO会員2,000円)
お申し込み締め切り : 2021年8月26日(木) 20:00

主催、問い合わせ

特定非営利活動法人 地域水道支援センター (CWSC)
〒195-0053 東京都町田市能ヶ谷 1-8-1-503
Email info@cwsc.co.jp
H P https://www.cwsc.or.jp/
テレワーク体制中につきご連絡はメールでお願いいたします

< 8/28 当日のプログラム >

14:00—14:10 モデレーターよりガイダンス 地域水道支援センター理事 橋本淳司

▶▶▶ 第1部 レクチャー

14:10—14:50 講演1

「途上国の水とトイレの課題を考える：NGO ウォーターエイドの活動」

特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン事務局長 高橋郁

14:50—15:30 講演2

「カンボジア・シェムリアップ州の村落における生活衛生改善のための家庭用浄水器」

一般社団法人名古屋環未来研究所理事 伊佐治知明

▶▶▶ 第2部 ディスカッション

15:30—15:55 ディスカッション

15:55—16:00 事務連絡、閉会

※講師及び内容は当日変更になる可能性があります。

参加申し込み方法

一般（当NPOの会員でない皆様）

次のイベントページよりお申し込みください（※クレジットカード支払い、コンビニ払い）

CWSC主催 緩速ろ過/生物浄化法セミナーオンライン講座2021 第1回目

「SDGs6達成へ向けた『水』の国際貢献と小さな水道」

URL <https://peatix.com/event/1993414/>



※Peatix というイベントサービスにご登録いただくことになります。無料のサービスですが Peatix の利用を避けたいという場合は、下記の会員向け申し込み方法と同様に CWSC へ直接メールでお申し込みいただくこともできます（※支払い方法は口座入金のみ）

当NPO会員の皆様

当NPO事務局へ直接メールにてお申し込みください。

（会員価格が適用になります。※支払い方法は口座入金のみ、手数料はご負担願います）

お申し込み先メール info@cwsc.co.jp

背景 ～途上国への水道支援とSGDs～

今、世界の7億8500万人の人が、安全な水が身近になく、川、湖、整備されていない井戸などから水を得ています。この状況は気候変動によってさらに悪化すると予測されています。これまで使用していた水源が枯渇し、水くみの時間がより長くなるケースも考えられます。そのために働く時間、学校に行く時間がなくなり、より深刻な貧困に陥ります。洪水によって水源が排泄物によって汚染され病気がひろがり、海面の上昇で地下水が塩水化することも考えられます。

こうした国々や地域に給水設備を普及させることが急務です。ただし、それぞれの地域の環境や経済状況に応じた持続的な技術や方法であることが肝心です。貧しい村落ではローコストであること、日頃のメンテナンスが容易であることなどが重要になります。

SDGsで水といえば目標6ですが、「貧困をなくす」（目標1）には水が必要ですし、食糧（目標2）も健康（目標3）も水がベースになります。給水設備ができれば、子供たちは水くみの仕事から開放され、教育の質向上（目標4）にもつながります。



改善された水源からの飲料水設備（水道など）が敷地内にあり、必要に応じて利用できる人

... 53億人 (71%)



改善された水源（覆われた井戸など）まで往復30分以内の人

14億人 (19%)



改善された水源（覆われた井戸など）まで往復30分以上の人

... 2億600万人 (3%)

保護されていない井戸、泉などから水を飲む人

... 4億3500万人 (6%)

川、湖、池、運河などから直接飲む人

... 1億4400万人 (2%)

